

2026～2027 SHIKI WEEKLY

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ



持続可能な
インパクトを
生み出そう

志木ロータリークラブ

2026-27年度 国際ロータリー 会長 オラインカ・ハキム・ハバロラ 「CREATE LASTING IMPACT」
2026-27年度 第2570地区 ガバナー 原島 生慈 「ロータリー活動に誇りを！」
2026-27年度 志木ロータリークラブ 会長 國分 学 「志木SHIKIプライド」

第2474回 例会

2026-7-15

ガバナー補佐訪問

- ◎司会 末富 啓道 副会長
- ◎点鐘 國分 学 会長
- ◎ソング 手に手つないで
- ◎ソングリーダー 榎本 秀夫 副SAA
- ◎四つのテスト 榎本 秀夫 副SAA
- ◎ゲスト 松岡 昌宏様(第2G ガバナー補佐)



ソングリーダー・四つのテスト 副SAA 榎本秀夫

「会長挨拶」会長 國分 学

本日は7月15日、今年度で2回目となる通常夜間例会となります。

日中のお仕事を終えて駆けつけてくださった皆様、本日も本当にお疲れ様です。

さて、本日の例会は、私たちにとって重要で、かつ心強いお客様をお迎えしております。国際ロータリー第2570地区・第2グループのガバナー補佐であられます、新座ロータリークラブ所属の松岡昌宏様です。

松岡ガバナー補佐、本日は我が志木ロータ



リークラブへお越しいただき、誠にありがとうございます。会員一同、心より歓迎申し上げます。

松岡ガバナー補佐におかれましては、原島生慈ガバナーの地区方針である『ロータリー活動に誇りを！』という熱い想いを、私たちのクラブへ繋ぐ重要な大役を担っておられます。本日は、松岡ガバナー補佐を囲んで、これからの第2グループ、そして志木クラブの未来に向けた、質の高い、真摯な対話の時間を共有させていただきたいと考えております。

松岡ガバナー補佐が所属されている新座クラブと、私たち志木クラブ。そして朝霞クラブ、富士見クラブを含めた4つのクラブが、現在の「第2グループ」を構成しています。ここで少し、私たちの勉強も兼ねて、この「第2グループ」の成り立ちと歴史的な繋がりについてお話ししたいと思います。

志木ロータリークラブ 例会日/毎週水曜日(12:30～13:30) 創立/昭和47年1月17日
例会場/事務所/〒353-0004 志木市本町5-17-3 埼玉りそな銀行志木支店内 TEL 048-474-2125 FAX 048-487-3100

7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 で す

私たちが活動するこの地域は、行政区としては志木、新座、朝霞、富士見と分かれています。歴史を遡ると、実は非常に深い「一つの経済・文化圏」として結ばれていました。その主役となったのが、私たちのクラブバナーの由来にもなっている「新河岸川の舟運」です。

江戸時代から明治にかけて、川越から江戸へと物資を運ぶ通い舟の中継地として、志木の引股河岸は大いに栄えました。この周辺一帯で採れた豊かな農作物の多くが志木の市場に集まり、そこから舟に乗って荒川を經由し、江戸の浅草へと運ばれていったのです。そして帰り舟には東京の最先端の文明や商品が満載され、再びこの地域へと還元されていきました。つまり、今で言う「第2グループ」の地域は、何百年も前から新河岸川や柳瀬川という水の路を通じて、お互いに助け合いながら共に発展してきた、切っても切れない強い絆で結ばれたコミュニティなのです。

昭和47年に、朝霞ロータリークラブがスポンサーとなって我が志木ロータリークラブが誕生し、その後も新座、富士見と素晴らしいクラブが誕生していきました。

水の流れが地域を潤してきたように、私たちロータリーの奉仕の志もまた、この歴史ある地続きのネットワークを通じて深く繋がっているのです。

今年度、我が志木ロータリークラブは、会長テーマに『志木 SHIKI プライド』を掲げ、その第2の柱として「第2グループの牽引」を目指しています。歴史的に見ても、私たちはこの地域を引っ張っていくエネルギーと誇りを持っていると確信しています。

今月末、7月29日の水曜日には、秩父ロータリークラブ所属の原島生慈ガバナーをお迎えしての「ガバナー公式訪問・クラブ協議会」という今年度前半の大きな山場が控えています。本日、松岡ガバナー補佐に、ご指導を仰ぐことは、29日の公式訪問を大成功へと導くための最高のステップとなります。

松岡ガバナー補佐、どうぞ本日は、我が志木ロータリークラブの活気あふれる雰囲気と、

会員たちの真摯な姿勢を存分にご覧いただき、忌憚のないアドバイスをいただければ幸いです。

会員の皆様、本日は私たちの歴史的なルーツである「第2グループ」の絆に感謝しながら、お互いの歯車をしっかりと噛み合わせ、松岡ガバナー補佐とともに有意義な例会の時間を過ごしていきたいと思います。

以上をもちまして、私からの歓迎と、本日の会長挨拶といたします。

「幹事報告」

幹事 影山 知良



1. 国際ロータリー日本事務局より2件受信
 - ①クラブ・地区支援リソース集受信
 - ②国際ロータリー日本事務局 事務所のご案内
2. 地区事務所より6件受信
 - ①クラブ行動計画推進セミナー開催案内
日時：8月8日(土) 14:00～16:30
場所：ガーデンホテル紫雲格 東松山
 - ②RI 脱会承認のお知らせ(2025～26年度)
 - ③世界ポリオデーイベント開催並びにストーリーテリングキャンペーン参加依頼
 - ④日韓親善会議開催案内
日時：10月26日(月) 13:00～21:00
場所：神戸ポートピアホテル
会費：35,000円
 - ⑤第1回社会奉仕セミナー開催案内
日時：9月5日(土) 登録12:30
点鐘13:00 閉会15:30 予定
場所：早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター
 - ⑥第56回インターアクトクラブ「年次大会」開催案内
日時：8月2日(日) 9:30～15:00 予定
場所：狭山ヶ丘高等学校・同付属中学校

7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 で す

3. 志木市体育協会創立 80 周年記念講演会開催案内

日時：10 月 25 日(日) 14:00～15:30
場所：志木市総合福祉センターホール
講師：舞の海秀平氏(NHK 大相撲解説者)
テーマ：「小よく大を制す～勝負脳の磨き方へ」

参加費：無料

4. 令和 8 年度朝霞地区暴力排除推進協議会総会開催案内

日時：8 月 17 日(月) 14:30 から
場所：和光市役所 502 会議室

5. ハイライトよねやま Vol.316 2026.7.13

「卓 話」

「ガバナー補佐卓話」

RI 第 2570 地区 第 2 グループ

ガバナー補佐 松岡 昌宏様(新座 RC)



皆様、こんにちは。2026-27 年度第 2770 地区第 2 グループガバナー補佐を務めます、新座ロータリークラブの松岡昌宏です。本日は貴重なお時間をいただき、私自身の歩みとロータリーへの思いについてお話しさせていただきます。

まずご報告として、先ほど志木ロータリークラブの書類点検を実施いたしましたが、準備は大変素晴らしく、さすが第 2 グループを代表するクラブだと感じました。また、今年度の原島生慈ガバナーは食道がんの手術を受けられましたが、無事退院され、現在は体調を見ながら公式訪問に臨まれています。私たちもガバナーを支えながら地区運営に努めてまいります。

今年度のガバナーテーマは「ロータリー活動に誇りを！」です。ロータリーに入会して良かったこと、人生の糧となった経験を語り合い、その価値を次世代へ伝えていくことが求められています。私自身も、ロータリーによって多くの学びと出会いを得てきた一人です。

私は 1965 年、東京都港区芝公園で生まれ、その後埼玉県越谷市で育ちました。大学卒業後は国際証券株式会社へ入社し、営業マンとして社会人生活をスタートしました。当時はバブル経済の真っただ中で、入社初日から飛び込み営業の日々でした。名刺を持って一日中企業を訪問し、断られても断られてもまた訪ねる。電話をかければすぐに切られ、朝から晩まで営業に明け暮れる毎日でした。

しかし、その経験は私を大きく成長させました。人見知りだった私も、何百件もの訪問を重ねるうちに度胸がつき、相手に自分を知ってもらうことの大切さを学びました。結果として新入社員時代には全国トップの営業成績を収めることができました。

ところが、その後バブルは崩壊します。お客様に勧めた株価は下落し、「金を返せ」と叱責されることも少なくありませんでした。営業成績は上がっていても、本当に人の役に立っているのだろうかという疑問が心の中に芽生えていきました。

そんな時、転機となったのが妻の実家との出会いでした。妻の実家は新座市で工務店を営んでおり、義父から「家づくりはお客様に心から感謝される仕事だ」と聞かされました。その言葉に強く心を動かされ、私は証券会社を退職し、建築業の世界へ飛び込む決断をしました。

建築の世界では営業だけでは通用しません。義父から「職人を動かすなら自分も仕事を覚えろ」と言われ、大工、内装、電気、水道など、ガス工事以外のあらゆる現場作業を学びました。作業着を着て現場に立ち、職人と共に汗を流しながら技術を身につけていった経

7月 は 「母子の健康月間」 です

験は、現在の経営にも大きく役立っています。

振り返ると、私の人生は常に「人との出会い」によって導かれてきました。そして、その出会いを最も与えてくれたのがロータリーです。

14年前、東日本大震災の翌年に新座ロータリークラブへ入会しました。当初は右も左も分からず、イニシエーションスピーチでは足が震えるほど緊張したことを覚えています。しかし、活動が続ける中で多くの経営者や地域のリーダーと知り合い、自分自身の視野が大きく広がりました。

今年の5月に東京ロータリークラブを訪問した時のことです。名刺交換をすると、日本を代表する企業の会長や社長が次々と現れました。しかし、そこには肩書による上下関係はなく、誰もが対等に接し、初めて参加した私にも温かく声を掛けてくださいました。その姿に、ロータリーの本質である友情と奉仕の精神を強く感じました。

ロータリーの魅力は、普段の生活では出会えない人々と交流できることにあります。そして、その出会いが人間力を高め、新たな可能性を開いてくれます。私自身、多くの学びを得たからこそ、今こうしてガバナー補佐という役割を務めさせていただいているのだと思います。

現在、私は会社名を「あいる建築設計株式会社」としています。この「あいる」という名前は、ロータリーで学んだ「I Will Serve」の精神に由来しています。自ら進んで行動し、人や地域に貢献する。その思いを会社名にも込めました。

私はこれまで、「頼まれたことはまず引き受ける」という姿勢を大切にしてきました。その積み重ねが今日につながり、多くのご縁をいただいています。ロータリーもまた、人とのつながりを大切にする組織です。

これから一年間、第2グループの発展のため

に微力ながら力を尽くしてまいります。志木ロータリークラブをはじめ、各クラブの皆様のお知恵とお力をお借りしながら、ロータリーの魅力をさらに高めていきたいと思えます。そして、一人でも多くの会員が「ロータリーに入って良かった」と感じられるような活動を推進してまいります。

今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。私の卓話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

(紙面の都合上、一部内容を編集のうえ掲載しております)



7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 で す

司会 末富副会長



松岡ガバナー補佐と 3 役

